

# のぞみ寮・くるみ寮の様子

のぞみ寮/くるみ寮  
管理者 富田 弘樹



宿泊型自立訓練のぞみ寮（在籍9名）、共同生活援助くるみ寮（在籍72名）は地域の中で、個性を活かした自分らしい暮らしを目指しています。

これからのグループホームは、本人が希望する地域生活の実現へ向け、生活の質の向上と一人暮らしやパートナーとの同居等、更に一歩進んだ地域生活へ向きます。その為には、刻々と変化する時代に適応し、しっかり支え合う体制づくりが必要となってきます。同時に、地域との連携をはじめ、互いに理解し合う為に透明性の確保が、グループホームの機能として求められてくるものと思われます。

今年も10月にみんな元気かい（同窓会）を開催する予定です。報恩会に関係する利用者、職員90名程が一堂に会します。近況報告や懐かしい思い出話などあつという間に時間が経ってしまう貴重な時間です。

時代が移り変わり事業の在り方も変わっていくかもしれませんが、報恩会のつながりは、いつまでも守り続けていきたいものです。

## 未来に向かって

のぞみ寮 支援係長 萩原

令和6年度は、男性7名・女性2名の計9名でスタートしました。日中は一般企業の障害者雇用枠や就労継続支援事業所A型やB型等様々な場所で働かれており、夜は清掃や勉強会、自治会等に取り組みられています。在寮2年という限られた中で、時には歓迎会や納涼祭、新年会等のイベントで息抜きをしながら、各々が思い描く自立生活に向けて目標を立てて頑張っています。今年一年も一人ひとりに寄り添い、ステップアップしていけるように支援します。



## 休日のお楽しみ

くるみ寮 支援係長 今井

現在16ホーム72名の皆さんは毎日各職場や事業所で働き、地域での生活を各々が楽しんでいます。コロナ禍によって生活スタイルに変化はありましたが、5類になり少しずつ外出先の規制が緩和され、昨年は4年ぶりの同窓会、12月にはひまわりに60名ほどが集まりクリスマス会を行いました。

今年度はホーム単位での外出や日帰り旅行、エスコンへの野球観戦、クラブ活動など利用者様の意見を取り入れながら新しい形の行事を計画しています。先月のボウリングクラブでは15名の参加者がおり、6月もぜひ開催してほしいとの声が上がっていました。

事業所目標でもある「新しい余暇の提供」をめざし、笑顔あふれる一年にしたいと思います。

